

# 令和5年度学校業務改善支援事業概要

## 1. 本事業の目的

教育の質を高めるためには、長時間勤務・勤務過密化の解消とワーク・エンゲイジメントの向上を一体的に進め、教職員のWell-beingを追求していくことが不可欠である。そのために、教育委員会と学校が協働し、「個業」や「自前主義」が課題とされる学校文化や教職員意識の変容を図り、学校自体が、業務改善や組織改革、所属教職員の協働性の向上等の働き方改革を自走化する仕組みづくりを進める必要がある。

本事業は、その観点を踏まえ、教育委員会と学校・教職員の協働的な働き方改革のプログラム開発と実施、働き方改革を推進する人材の育成、水平展開のためのワークショップや講演会の開催等の業務を、経験、ノウハウを持った民間事業者に委託し、学校の働き方改革を推進することを目的とする。

## 2. 主な取り組み

(1) 教育委員会と民間事業者が、協働で事業実施校に伴走し、事業実施校全体への研修・個別の支援を実施。

○全体研修実績（事業実施7校）

・各校で業務改善を担当する推進リーダー、推進チームを選定・研修→実践→研修→実践を繰り返すことで、各校の自走へつなげた

座談会(6/15,7/4) ・各校の推進チーム、民間事業者及び県教育庁教職員課担当者との顔合わせ、事業概要の説明

第1回 全体研修(7/12) (対面) ○各校の管理職、推進リーダーが参加。学校内で教職員が主体となって業務改善をすすめるために大切な思考法や事例をインプット後、意見を出し合うワークショップを体験し、校内での展開につなげた。  
・各校のアクション計画作成

【各校での実践例】 ワークショップ・職員アンケートの実施、できることから実施（夏季休業中の時差勤務など）

第2回 全体研修(9/25) (オンライン) ○各校の推進チームが参加。各校の実践を共有し、見えてきた課題に応じて、今後の展開について各校と伴走者で作戦会議を実施、次の一手につなげた。  
・各校の最上位目標の設定、実現に向けて目的を問い直し、手段を再構築

【各校での実践例】 推進チームでの話し合い、教員研修会・座談会の実施

第3回 全体研修10/24) (オンライン) ○各校の推進チームが参加。学校で業務改善を動かしていくための具体的なアクションプランを立案し、伴走者との個別作戦会議で検討し、実践につなげた。  
・業務改善の意見集約後、どのように進めるか、各校の実状に合わせてアドバイス

【各校での実践例】 推進チームでの話し合い、できることから実施（会議資料のPDF化など）

第4回 全体研修11/21) (オンライン) ○各校の推進チームが参加。伴走者との個別作戦会議で、状況をヒアリングし、今年度の成果をまとめ、次年度以降の見直しにつなげた。

【各校での実践例】 次年度に向けての話し合い、民間事業者による校内研修会の実施

第5回 全体研修(1/31) (オンライン) ○各校の推進チームが参加。次年度以降の見直し、自走について伴走者と個別作戦会議を行い、今年度の取組について各校が成果発表を行った。

(2) 県内への横展開として、民間事業者が、県小学校校長会や市町村教育長への講演、オンラインワークショップなどを実施。

業務改善オンラインワークショップ(8/10)	○働き方改革の目的、業務改善についての講話、個人のタイムマネジメントについてのワークショップ。教職員、管理職に分けてオンライン開催。全県の教職員を対象、小・中・高・特の各校から約50名が参加。
県小学校校長会研修会講演(9/29)	○宮城県小学校長会研修会で、「これからの学校づくりに向けて～学校の働き方改革～」と題して講演を実施し、県内の小学校長約170名が参加。 ・業務改善と授業改善の両面からのアプローチ、校長として取り組む最上位目標の設定や施行実施
県内市町村教育長向け講演(11/13)	○宮城県教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会の中で各市町村教育長・教育委員会対象に講演を実施。約90名が参加。 ・業務改善と授業改善の両面からのアプローチ
事業実施校での校内研修(12/26,27) (1/23)	・タイムマネジメント研修（2校で実施） ・個人のタイムマネジメントについてのワークショップを実施。

### 3. 成果・課題

- ① 時間外在校等時間や在校等時間80時間超の人数など定量的な結果において、前年度から改善があった学校が見られた。
- ② 本事業が、各校で業務改善について話し合う契機となり、全体研修5回目の実践発表や振り返りでは、全校の推進者が「次年度以降も継続して取り組みたい」とコメントするなど、働き方改革への理解が深まり、学校の自走に繋げるという観点で成果があった。
- ③ 各学校への個別伴走について、7校中2校から現地での研修・ワークショップ依頼を受け、特に県立高校や特別支援学校の難しさである「校内での火付けや展開」を後押ししたが、依頼時期が遅かったこともあり、年度内での成果にはつながりにくかった点が次年度に向けた改善事項となる。
- ④ 教育委員会担当者が事業実施校全7校と一緒に伴走する中で、民間業者の知見やノウハウを蓄積することができ、教頭会研修など別の機会でも活用できた。
- ⑤ 県小学校長研修会や、県内市町村教育長が参加する会議において、働き方改革について講演を実施し、県立学校以外への本事業の横展開を図ることができた。

## 4. 各実施校の主要な実践まとめ

### (1) A校

今年度の取り組み内容は？	
①授業改善（協働的な授業づくりの実施）	⑤デジタル採点の導入（リアテンドント）
②県外視察（先進校との連携）	⑥生徒1人1台端末によるペーパーレス化・ロイロノートの活用
③他校の先生の出前授業（県内教員との連携）	⑦スタディサプリの導入に向けた整備
④校内研修の実施	⑧教育課程の改訂に向けた整備
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
①③⑤異動した先でも、変わらずできるように・・・！	成果を示しながら徐々に進めること。
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
スタディサプリの導入に向け、課外や補助教材等を精選した。	校内研修の参加者増に向け、校内の伴走者を増やす。
デジタル採点を広める（やってみて慣れていく）	来年度は校務分掌が見直される予定。それに向けた業務の分け方の整理。

## (2)B校

今年度の取り組み内容は？	
①業務改善チームの発足	⑤分掌ごとの業務削減に向けた棚卸し (校内別プロジェクトによる活動)
②時間予算ワークショップの実施	⑥清掃をしない日の導入→2月・3月は火木なし
③今年度実践できそうな取り組みの精選	⑦SHR等における連絡のICT化(予定)
④職員会議のペーパーレス化の試行→12月より実施	⑧平日課外の削減・廃止を検討
他校にお勧めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
pdf結合ソフトが素晴らしいです。 (ご存知かとは思いますが…)	簡単にできることから始めると…
次年度に向けて取り組むことは？(具体的な取り組み、仕組みづくりなど)	
①ICTを活用した業務を増やす。 →方法とメリットを提示する。	③生徒が使える時間を増やしたい。(放課後や長期休業中など)→その時間で探究の充実を…
②授業時間や週コマ数など、重い部分に切り込めないか …	④留守電良いですね。

### (3) C校

---

今年度の取り組み内容は？	
①夏季休業中の勤務時間変更	④校内の課題を検討・改善する会議への参加
②職員会議の時短化	※リアテングント導入
③単純作業を時短化する機械の導入検討	
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
夏季・冬季休業中の勤務時間変更	事務室としっかり連絡調整しましょう
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
職員間のでてきた当事者意識？やれば少しずつでも改善できるという雰囲気をついに維持するか。	

## (4)D校

今年度の取り組み内容は？	
1 業務改善チームを発足。「目的の明確化」	3 各チームで棚卸し内容の精選・検討
2 各チームで業務の棚卸し作業。	4 業務改善チームとしての全体提案(8項目)
全体提案の8項目 ①フレックスタイムの導入 ②朝の全体打合せの廃止 ③朝の学年打合せの廃止 ④HRの時間を担任・副担任交代制	⑤始業時間を早める ⑥部活動精選 ⑦部活指導交代制 ⑧留守番電話の導入
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
学科改編が後押しとなっている。通常は困難と考える。	他の教職員との情報共有をこま目を実施する。
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
提示した内容に対してのアンケートを実施し、無理のない内容に近づけていく作業を考えて行く。	3ヶ年計画で実施予定。

## (5)E校

今年度の取り組み内容は？	
留守番電話の設置検討 回線の確認。 何時から留守電にするかを検討 保護者と連絡のつく時間が18時以降である との意見もあり。 →緊急の取次は別回線にする 職員会議のペーパーレス化 教員にはiPad1台を貸与されるが、講師の先生分が貸与されず、自ら紙に印刷して参加している。	業務の見える化（ワークショップの実施） 超過勤務の先生の参加が叶わず。 まずは有志での参加にしたので、個人のタイムマネジメントが主。 分掌全体での業務見直し（棚卸し）を実施するには、職員全体の参加が必要。次年度時間を設けてワークショップが実施できれば。
他校にお勧めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
本校では昨年度からロイロノートの試験導入がされて今年度は無料の2年目です。来年度からは有料で使用することが決まりましたが、今ではなしでは授業ができません。	まずはやってみよう。を合言葉に。
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
業務の見直しその2 職員全体でのワークショップ（業務の棚卸し） →分掌の業務整理、1人でやっている業務を周りにわかって欲しい、「今まで」にとらわれず、今後に必要な業務をする、などの声が聞かれた。	退勤時間に音楽・放送を流す →生徒の下校時間に合わせて一度チャイムを流す。夜遅い時間帯では近隣に迷惑では。生徒の完全下校の時間を職員が把握していない。

## (6)F校

今年度の取り組み内容は？	
①12月に推進メンバー・プロジェクトメンバー会議を開催	③1月に推進メンバー・プロジェクトメンバー会議を開催し、アンケート結果を協議する
②12～1月に全職員へ業務改善アンケートを実施	④③の会議を経て、年度末反省会に提案する
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
	推進メンバー・プロジェクトメンバー会議を設定する日時の調整はとても苦労しました。
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
今年度のアンケートででた意見等を次年度も継続して検討することや次年度も業務改善を考える時間を作る取り組みを継続していきたい。	→推進メンバー・プロジェクトメンバーの更新や入れ替え等

## (7)G校

今年度の取り組み内容は？	
業務改善に関するアンケート及びワークショップ	出された意見をまとめ、提示した
職員会議等のペーパーレス化&時間設定	iPadの活用 終了時間の明記
リフレッシュデイ（健康促進日）の設定	2回／1月の設定
タイムマネジメントに関する研修会の実施	コンサルタントが来校し、全員参加の勉強会を行った。
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
学校業務改善に向けてのグループでの座談会（会議ではなく）&その人数を増やす試み	声高に否定的な発言をする人もいると思うが、管理職にも積極的に参加（バックアップ）していただき、仲間を増やすこと。
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
留守番（メッセージ機能）電話の設置	保護者連絡についてのルール作り
事務整理日の設定 全体会議の回数を減らす 年間行事予定に、リフレッシュデイを組み込む	早帰りの日数を増やし事務整理日に当てる。家庭訪問→自宅経路確認に変える。面談のある日は早帰りにする等。 1～2回／月のペースで。